

次世代への継承に向けた活動の様子

日本国内の認定地域では、世界農業遺産を将来にわたり維持していくため、農林水産業への理解を促進し、担い手を育成するための様々な活動に取り組んでいます。その一例を紹介します。

宮城県大崎地域

宮城県大崎地域では、湿地を水田に転換利用し、「水」の確保と調整に様々な知恵や工夫を重ねながら稲作を中心とした水田農業を発展させてきました。



おおさき生きものクラブ



おおさき生きものクラブ 活動の様子

当地域では、行政と地域の6つのNPO法人などが連携し、地域の自然や生きものと楽しみながら触れ合う中で、子供達の環境保全意識を高めるため「おおさき生きものクラブ」の活動が行われています。

この活動には、農家子弟に限らない地域全体からの多様な子供達が参加しています。また、単に生きものを調査するだけでなく、農業システムを支える水管理、屋敷林「居久根（いぐね）」の保全管理、奥山での間伐などの人の営みによって二次的自然が維持されていることへの理解を深め、さらに自ら発信することができる「翻訳者（インタープリター）」の育成を目指しています。

静岡県掛川周辺地域

静岡県の特産品であるお茶の栽培が、「茶草場農法」という独自の伝統農法で行われています。当地域では「茶草場」と呼ばれるススキやササなどが自生する草場が点在しており、この草を刈り取り、乾燥させて、茶畑の畝の間に敷きます。この「茶草場農法」は、傾斜地茶園の土壌条件を良好に保つだけでなく、土壌の流亡を防ぎ、お茶の品質においても良い影響を及ぼすとされています。

県内では茶業者や日本茶インストラクター、農協など



お茶の淹れ方講座の様子



手もみ製法研究会

が幼稚園、小学校等でお茶の生産に関する授業やお茶の淹れ方講座を行い、若年層への茶文化の普及活動を行っています。

もともと当地域は歴史ある茶産地で、消費地でもあることから、講座への参加者は多くありましたが、2016年度に静岡県は「小中学校の児童生徒の静岡茶の愛飲の促進に関する条例」を制定し、教育現場への静岡茶愛飲の機会を提供しています。

2017年度からは静岡茶愛飲促進事業を県教育委員会と連携して行っており、家庭や地域の協力も得ながら、さらなる静岡茶愛飲の定着に努めています。

現在県内には茶手もみの流派が8流派あり、それぞれ研究会を開き技術継承に努めています。また、これらの手もみ製法研究会は県内で数多く開催されているお茶関連イベントに出展し、一般消費者向けの体験会を行っている他、小中学校での技術披露や体験活動を通じて、子供達へ技術を伝えています。

宮崎県高千穂郷・椎葉山地域

宮崎県高千穂郷・椎葉山地域は九州山地を構成する山々に囲まれた険しい山間地であり、今でも様々な神話や伝承が息づいています。森林に囲まれ平地が極めて少ない厳しい環境下で、人々は努力と工夫を重ね、特徴的かつ持続的な山間地農林業複合システムを構築しています。

当地域のコミュニティでは伝統文化「神楽」を通じて絆を強めています。神楽は、日本神話と結びついた五穀豊穡と生活の安定を祈る集落の祭りで、神々への



神楽を舞う子供の様子



小中学校での出前授業

祈りを舞に込めて800年以上継承してきました。神楽には子供たちが参加する演目もあり、子供たちは大人の舞手に教わりながら練習をし、本番に臨みます。

地域の行事に参加することで、次の世代に、自然に伝統文化を継承する仕組みがこの地域には根付いています。

また、当地域では、地元の高校生が、世界農業遺産について学びながら、地域の魅力や課題を発見していく次世代人材育成プログラム「GIAHSアカデミー」の活動が行われています。

地元農家を取材し、学んだ内容を地元誌「高千穂郷食べる通信」や地域内の小中学校に出前授業で地域内外へ広く発信をしています。

平成29年から始まった「GIAHSアカデミー」の取組は、当初高千穂地域の高校生のみでの参加でしたが、令和2年度からは宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校も加わり、国内外の認定地域や関係機関と連携して活動しています。

農業遺産の魅力

- * 農業遺産として認定された地域では、概ね100年以上もの間、脈々と受け継がれてきた伝統的な方法で農業・林業・漁業を営んでいます。
- * これらの伝統的な農林水産業は、地域の気候、地形、歴史的背景などに育まれて形成されたもので、独自性が高く、その地域固有の食文化や風土・景観を生み出しています。
- * 農業遺産に認定された農林水産業は、自然資源（土壌や森林、水産の資源）を枯渇させない資源循環システムを有しており、環境負荷が少ないため、日本固有の生き物を含む生物多様性の保全にも貢献しています。
- * 農業遺産は、農林水産業の営みそのものであり、社会的、経済的、生態学的な変化に適応しながら進化を続けている「生きている遺産」です。